

高等学校第1学年 家庭基礎学習指導案

期 日 平成25年11月1日(金)

授業者 教育センター所員 古川 郁子

1 単元名 家庭基礎「衣生活をつくる」(実教出版 高等学校家庭基礎)

2 単元について

平成21年に改訂された学習指導要領解説家庭科編では、「高校家庭科では、自己及び家族の発達と生活の営みに必要な知識と技術を小学校家庭科、中学校技術・家庭科の上に積み重ねて習得させ、生活をよりよくするために主体的に実践できる能力と態度を目指している」¹⁾とあるように、高等学校では、生活を総合的に捉え、主体的に行動できる実践的な力を身に付けていくことが大切となる。

共通教科「家庭」の3つの科目(家庭基礎、家庭総合、生活デザイン)における衣生活に関する内容で、共通しているのは、「環境に配慮した衣生活の管理ができること」と「健康的に着装し、社会生活を円滑に送る上での自分らしい着装ができること」である。家庭基礎は2単位であり、他の2科目と比べ、高等学校で学ばせたい最小限の内容で構成されていて、自立した生活を営むために必要な基礎的・基本的な内容に重点を置いている。

家庭基礎の小項目の「イ.被服の機能と着装」では、健康で快適な衣生活のために、被服管理及び目的に応じた着装を工夫する知識と技術を習得させることを目指している。

高校生にとって、正式な場や慶事弔事などに出席する場合は、制服で事足りるが、数年後には社会人となり、円滑な社会生活を送るためには、衣生活を主体的に営む態度を育むことが必要である。本単元では、高校生の現実の衣生活の実態や、興味・関心を踏まえ、これから迎える社会生活を念頭において主体的な衣生活を営むことができるように留意したい。

また、平成22年に文部科学省が作成した教育の情報化に関する手引には、「教科指導におけるICT活用 ～各教科等の目標を達成するための効果的なICT機器の活用～」²⁾と示されており、教育現場におけるICT利活用が推進されている。佐賀県教育委員会でも、先進的ICT利活用教育の推進を目指し、来年度入学生より、すべての県立高校での学習用PCの購入が決まっているため、デジタル教材を使用した授業を行うことが必須となる。また、ICT機器を活用することは、様々な支援を必要とする生徒に対して、思考や理解の一助となることや協働学習が苦手な生徒に対しても効果が期待できる。そのような中で、電子黒板、学習用PCを活用した授業を提案する。

本学級は、致遠館中学校からの内部進学者と外部進学者で構成された理数科のクラスである。男子生徒の割合が多く、活発で課題の取組や授業中の態度は良好である。しかし、1日のほとんどを制服で過ごし、私服の着装を楽しんだり、自分で衣服の管理をしたりする時間が少ない生徒にとって、衣生活は興味・関心が高い分野とはいえない。そのため、

実生活との関連を図り，更にICTを利活用することで興味・関心・意欲を高め，学習内容の理解を深めさせたいと考える。

以上のことを踏まえ，本学級の生徒に対して，着装の意味や重要性を理解させ，そして将来の衣生活を見通し，社会的慣習に適応しながら，主体的に自己を表現する着装の工夫ができるようにしたい。また，電子黒板や学習用PCを用いて資料提示をしたり，投票やコーディネート工夫をさせたりすることで，学習に取り組みやすい環境を作り，思考や理解の一助となるように配慮した授業を提案したい。

3 本時の目標

- (1) 被服の社会的機能を理解させ，自己を表現する着装について考える。
- (2) 着用目的に応じて健康で快適な被服の選択と着装ができる。

4 本時の評価規準

- (1) これからの社会生活における着装に関心をもって学習に取り組もうとしている。
【関心・意欲・態度】
- (2) 被服の機能を生かした適切な着装について考え，まとめている。
【思考・判断・表現】

5 単元の指導計画

単元名

「衣生活をつくる」 (全6時間)

1	衣服の素材を見てみよう	(2) イ	(1時間)
2	人と衣服のかかわり	(2) イ	(1時間) 本時
3	衣生活の管理	(2) イ	(3時間)
4	衣生活と資源・環境	(2) イ	(1時間)

6 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点及び評価	ICT利活用の方法
導入	1 前時の復習・本時のテーマを確認する。	・本時のテーマを説明する。	電子黒板 PowerPoint [課題の提示]

展 開 ①	2 自分の私服のこだわり (重視していること)を記入 する。	・数人に質問し、発表させる。	電子黒板 PowerPoint [説明補助]
	3 個性を表現するときに留 意することを知る。	・着装における個性の表現では、 周囲への配慮が必要であることを 例を挙げて伝える。	電子黒板 PowerPoint [説明補助]
	4 高校卒業後を想定し、正 装をする場面を予想する。		電子黒板 PowerPoint [説明補助]
展 開 ②	5 結婚式に相応しい女性の 服装を投票する。	・学習用P Cで、結婚式にふさわ しい服装を考え、投票させる。	学習用P C [配布] [投票]
	6 学習用P Cを使い、示し た例には、どんな服装をし て出席するか班ごとに考え る。	・就職活動・入社式、友人の結婚 式について、学習用P Cで衣服の コーディネート教材を使い、班で 話し合いながら考えさせる。	学習用P C [実習]
	7 電子黒板を使い、班で考 えた着装を発表する。	・机間指導を行い、作業ができて いるかを確認しながら援助する。	電子黒板・学習用P C [巡回]
展 開 ③	8 社会生活を円滑に送るた めに必要な着装の知識を理 解する。	・正式な場や婚礼、葬儀などの服 装の慣習について理解させる。そ の際には、具体的な例(男性用、 女性用のスーツやドレスなどの 写真)を電子黒板上に映し出しな がら説明する。	電子黒板 PowerPoint [説明補助]

展 開 ④	9 慣習に沿った着装の必要性について考える。	・社会生活における慣習に沿った着装の必要性を考えながら, これからの衣生活において自分の取るべき態度を考えさせる。 【関心・意欲・態度】	電子黒板 PowerPoint [説明補助]
	10 身体的・社会的(心理的)に快適で着用目的に合った適切な着装をするために考慮すべき事項を自分なりに考え, まとめる。	・これからの生活における適切な着装について, 生涯を見通しながら考えることができるよう, 前時との関連も含めた具体例を挙げて説明し, 思考を促す。 【思考・判断・表現】	電子黒板 PowerPoint [説明補助]
まとめ	11 本時のまとめを行う。		

《引用文献》

- 1) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説家庭編』平成21年12月 p.8, p.16
- 2) 文部科学省『教育の情報化に関する手引き』平成22年10月 p.2

《参考文献》

- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校 家庭)』2012年
- ・教育情報化推進協議会『教員のICT活用指導力向上/研修テキスト 増補改訂版』平成20年
- ・中学校高等学校家庭科指導法 中間美砂子・多々納道子編著 建帛社2012年
- ・家庭科への参加型アクション志向学習の導入 中間美砂子 大修館書店2006年
- ・高等学校家庭科指導資料 文部科学省 平成25年3月

《参考URL》

- ・ FORMAL STYLE <http://www.formalstyle.jp/>
- ・ ベルーナ通販 <http://belluna.jp/>
- ・ AOKI 公式通販 <http://www.eshop.aoki-style.com/>
- ・ ワンピの魔法 http://onepiece-rental.net/user_data/kekkonsiki_fukusou.php